

その笑顔、ひとりひとりが宝物。

Smile

2024年 3月号

vol.695

P2-3

自分らしく輝くために 住みよい地域社会目指して

P4

「55年目の発掘と褒賞 ～第2期～」 候補者募集

P5

物流の2024問題 農畜産物への影響は



INDEX

06・07	ほっとレポート	12	あつまるつながるみんなのあした
08・09	安曇野豊稔営農メモ	13	あしたへのあんしん
10・11	すまいる情報チャンネル	14・15	うれし楽し交流広場

※表紙写真 JAあづみフォトコンテスト2022金賞「早春」



▲活動の成果を元気いっぱい披露する女性理事ら

じぶんらしく
輝くために
～住みよい地域社会目指して～

JAあづみ女性部や同JA女性職員は一人一人がじぶんらしく輝くため、仲間や地域との繋がりを大切に、幅広い組織活動に取り組んでいます。今月号では、それらの活動の一部を紹介します。

「女性部フェスティバル」開催
活動の成果を元気に披露

JAあづみ女性部は2月10日、安曇野市豊科の安曇野スイス村サンモリッツで毎年恒例「女性部フェスティバル」を開きました。14支部の部員やJA役職員ら約200人が参加。支部活動の発表や記念講演を行ったほか、フードドライブや令和6年1月に発生した石川県能登半島地震に係る災害義援金の募金活動も実施しました。

フェスティバルは、同部最大のイベントで部員同士の交流の場となっ

ています。他支部の発表を聞くことで、次年度の活動意欲向上にも繋がっています。

黒岩美知子部長は「女性部では、想いをひとつに叶えようを活動入口ーガンに食農活動やJA運動への参画等、食を通じて地域と交わり、地域に貢献する活動を展開してきた。今日は1年間の活動の成果を披露するともに部員同士の交流を楽しんで欲しい」とあいさつしました。

支部の活動発表では小倉支部や堀金支部の年間活動報告、シャバラーズ26によるスコップ三味線演奏、令和4・5年度女性部理事が「信濃の国ダンス」を発表するなど、1年間の取り組みを元気いっぱい披露しました。

活動発表した部員は「緊張したが、仲間と練習した成果は出せたと思



▲フェスティバルを楽しむ部員ら

う。女性部の活動を楽しみにしている。今後も積極的に参加し、地域に貢献できる活動に取り組みたい」と話していました。

会場には、支部活動で作った手毬や紙細工、パステルアート、ベネチアングラスネックレスなどの手芸品を展示したほか、手作り生こんにやく

などの加工品の販売も行いました。活動発表後には、タレント・リポーターとして活躍中の菊田あや子さんによる「認知症も怖くない・グルメリポーターの役に立つ食の話とカントン健康法」と題した記念講演もあり、元気で健康に暮らす秘訣を学びました。



▲ワールドカフェで積極的に対話しました（女性のつどい）



▲意見を出し合いふるさとについて考えました



▲支部員が制作した手芸品を展示

「女性のつどい」開催 仲間とともに住み良い社会へ

1月22日、安曇野市豊科の安曇野スイス村サンモリッツで「女性のつどい」を開きました。管内の女性総代やJAあづみ女性部員、JA役員ら約90人が参加。JA全国女性組織協議会の久保町子会長による講演を聞き、ワールドカフェで共通のテーマについて話し合いました。

6回目となるつどいは、暮らしの中で地域に根付いた小さな協同活動を広め、住みよい地域社会を仲間と共に築くことが目的。JA女性職員だけで企画や準備、運営をしました。宮澤清専務理事は「女性の力や感性で考え、仲間とともに自分たちが住みやすい地域社会にしていってほしい」と挨拶を述べました。

講演会で久保会長は「JA女性想いをひとつにかなえよう」をテーマに、地域における女性の役割について話しました。

ワールドカフェでは、参加者が25班に分かれ、コーヒーやお茶を飲みながら「JAと地域のいいところ」について協議した後、班を変え「ふるさとの景色を守るため私たち女性

ができること」について再び話し合いました。

ふるさとを守るためには①地元の農産物を食べる②こどもたちへの食農教育を通じて、食や農への関心を深める③田んぼを守り継承するなど食や農に関する意見が多く挙げられ、農業を続け農地を守ることは景観維持に繋がる重要な取り組みだと再確認しました。

初めて参加したという女性総代の百瀬一美さんは「女性同士で話す機会は少ないので、貴重な取り組みだと思う。和気あいあいと話そうが出来た。男性の協力を得ながら、女性が地域で活躍できる場を作っていけたら」と述べました。



▲講演をした久保講師

「55年目の発掘と褒賞」候補者募集

～安曇野の大地への愛と誇りを～

JAあづみ創立60周年記念企画「55年目の発掘と褒賞」第2期は、創立55周年の節目に3年間にわたって実施し、多くの組合員から好評いただいたため、第2期として令和7年度の創立60周年まで継続して実施します。たゆまぬ研究による著しい成果と功績。また、安曇野の郷土の農業に挑戦する後継者の熱き想い。安曇野で農業を営む暮らしを始めた新たな担い手の夢と希望。この先駆的な取り組みなど幅広い世代層にスポットをあて、安曇野のさらなる農業振興に繋げていくことを目的としています。

この褒賞を通じ、生産者ほもとより、消費者をはじめとした地域住民に「安曇野の農業」を支えている生産者への感謝の想いと、農業への関心をより一層高めてもらうため以下の要項に基づき実施いたします。

〈実施要項〉

- 実施期間** 令和5年度より3ヶ年
- 受付期間** 令和6年3月～5月末日まで
- 選出対象者** (性別・年代問わず)
 - 農業を営む者や地域の農業振興等に寄与し地域農業を牽引している者
 - 科学的・学問的に分析しながら探究心をもって日夜研鑽している者
 - 環境に配慮した有機栽培等を実践している者
 - その他、安曇野の農業振興や農業の魅力の発信等に多大なる功績がある者
- 選出区分**
 - 「農業大賞 (研究開発賞)」
肥料、種子、作型等の分野で研究や挑戦、改良等の著しい成果を上げた者やその成果で地域の農業を牽引している者
 - 「後継者大賞」
後継者不足の中、農業の大切さを認識し、高い志をもって農業振興に取り組む若い世代の農業者で、数年後、地域の担い手として活躍が見込める者
 - 「未来開拓賞」
1ターンなどで新規就農を始めた者
(※新規就農者…概ね就農5年未満の親元、UIJターン、新規参入等)
- ～(3)の選出区分を原則とし、次の取組み内容も選考及び審査の評価対象とする。
・各種媒体等を活用し「安曇野の農業」の魅力を広く発信している取り組み
- ・温暖化等の気象変動への対応技術の実践をしている取り組み
- 選出方法**
組合員、並びにJA職員による一人一名の選出方式を基本とし、選出にあたっては、以下の点に留意してください。
 - 組合員やその家族、一人ひとりを深く観察し、日本の食のために努力を重ねている農業者を選出してください。
 - 選出者の家族、友人、隣人などからの推薦(支持)を重視させていただきます。
 - 所定提出様式
 各支所・出張所、地域営農センターの窓口に用紙があります。また、JAあづみのHPからダウンロードできます。
- 応募方法**
各支所・出張所、地域営農センターの窓口へ直接提出していただくか、郵送の場合は下記までお送りください。
〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川 2650-1
JAあづみ営農経済事業部農業企画課
「55年目の発掘と褒賞」係 まで
- 選考方法**
組合長、外部審査員(数名)による選考委員会を構成し、選考委員長には外部審査員を委嘱したうえで、厳正な選考を行います。
- 表彰**
農家組合長研修会(各年6月開催)の席上において、選考委員長より表彰します。また、褒賞受賞者には、賞状並びに副賞を授与します。要件として、表彰に伴う経営発表を以て贈呈とします。なお、受賞者の推薦人にも記念品を贈呈します。

詳しい内容につきましては、JAあづみのHPをご覧ください。下記まで、お問い合わせ下さい。
〈お問い合わせ先〉 営農経済事業部 農業企画課 (☎ 0263-72-2933)

物流の「2024年問題」まもなく 農畜産物への影響は

4月からトラックドライバーに時間外労働の上限規制が適用される物流の「2024年問題」。ドライバーにとっては働き方改革の実現につながる一方で、物流業界にとっては、従来通りにモノが運べなくなる事態が起きる可能性があります。今月号では、2024年問題の概要や農畜産物の輸送・販売などに及ぼす影響についてお伝えします。



そもそも「2024年問題」ってなに

トラックドライバーの時間外労働の上限を960時間とする規制のこと。労働時間が短くなることで輸送能力が需要に追いつかず、円滑に「モノが運べなくなる」可能性が懸念されています。国の「持続可能な物流の実現に向けた検討会」では、この問題に対して何も対策を行わなかった場合には、営業用トラックの輸送能力が2024年には14.2%さらに2030年には34.1%不足する可能性があるとして試算されています。

時間外労働時間の上限規制

月45時間、年360時間を原則として、特別な事情がある場合でも、年960時間が上限となります。

事業者はこの規制に違反すると労働基準法第119条1項の規定によって罰則を受けます。具体的な罰則の内容として、6か月以下の懲役または30万円以下の罰金が科される可能性があります。

「2024年問題」では物流の混乱も懸念される



農畜産物の輸送・販売への影響について

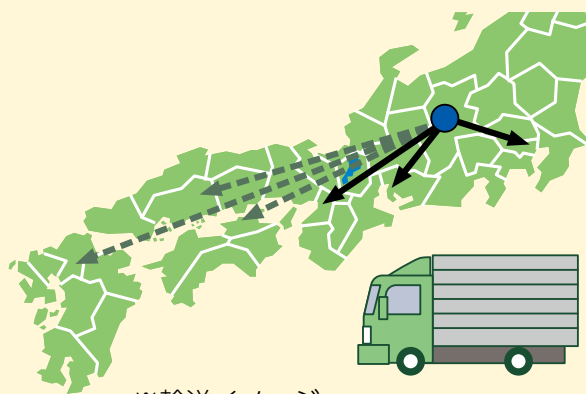
①遠隔地への輸送が制限される

時間外労働時間の上限により、1日あたりの拘束時間が減少することから、1回の移動距離が制限されます。

このため、関西や中国、四国、九州などの遠隔地については輸送が厳しくなることが想定されます。

②輸送運賃が上がる可能性が高い

時間外労働の割増賃金の増加やドライバーの待遇改善のための賃上げなど、輸送会社における人件費は増加します。このため、輸送運賃の値上げにも繋がる懸念されます。



※輸送イメージ

「2024年問題」は、お金を出せば瞬時に届く農畜産物の輸送形態が、将来にわたって続けていくことが難しいことを浮き彫りにしています。

鉄道や船など他の交通手段への切り替えも含め、政府や自治体、JA、運送業者、生産者らが課題を共有し、連携して「物流を止めない仕組みづくり」に取り組む必要があります。

生産現場の課題共有 営農懇談会開催

1月19日～2月3日

管内各地で令和5年度営農懇談会を開きました。地域ごと14会場で開催し、約377人の生産者が参加。生産現場の課題などを共有し、次年度の生産振興につなげようと毎年開催しています。

17 営農相談 日でもあつみ野

2月1日、安曇野市穂高の有明出張所で開いた営農懇談会には生産者64人が参加。令和5年度事業概要報告と令和6年度事業計画・生産振興などについて説明しました。

開会のあいさつで千國茂組合長は「地域で農地を大事にしつつ、発展させていくための意見交換の場にした」と述べました。令和6年度の地域農業振興ビジョン基

食肉処理施設移転延期に向けた署名活動 2日間で700件

1月27-28日

17 営農相談 日でもあつみ野
12 つくま農場 つかま農場
11 営農相談 日でもあつみ野

安曇野市豊科南穂高の農産物直売所「安曇野スイス村ハイジの里」でJA全農長野の子会社「県食肉公社（＝松本市）」が運営する食肉処理施設の移転期限延長に向けた署名活動を行いました。JA職員らが来場者に概要を説明し、署名への理解と協力を求めました。2日間で約700件の署名をいただきました。

食肉処理施設は県内2カ所にあり、うち松本市に建つ施設は、市の土地を無償で利用していますが、市がゴミの焼却施設を移転新設するため、立ち退きが求められています。同市から立ち退き要求が強い場合、新たな食肉処理施設が建設され稼働するまでの間、県内1施設だけで

本方針では、遊休荒地を増やさないため、担い手農家や集落営農組織などを中心に、農地集積を行い、対話活動・懇談会を通じて農業生産高の維持・拡大を図ることを確認しました。

参加した生産者は「農業人口が減少しており、農地の維持や農業自体の存続が危ぶまれている。我々はもとより、行政や地域が一体となって課題解決を進めたい」と話しました。



▲あいさつを述べる千國茂組合長(中央)

の受入処理には頭数の限界があり、肉畜の出荷先が県外になると、輸送コスト増による農家の生産意欲減退や食肉流通の混乱を招くほか、「信州産ブランド」に及ぼす影響は大きく、県産畜産基盤の脆弱化が懸念されます。

署名した来場者は「この話題は二ユーアスでも度々目にしてきた。農家やJAに頑張ってもらいたいので署名させてもらった」と話しました。



▲署名する来場者とJA職員

ハイジの里で節分イベント 福掘もつと手を伸ばして

2月3日

17 営農相談 日でもあつみ野
11 営農相談 日でもあつみ野

安曇野市豊科南穂高の農産物直売所「安曇野スイス村ハイジの里」で節分イベントを行いました。豆まきのほか、店内の北陸豊鮮では新鮮な魚貝をふんだんに使った特選海鮮恵方太巻を販売。小玉リンゴ「ピンククレディ」や柑橘類の詰め放題、白菜なども人気を集め、期間中のレジ通過者数は、前年比323人増の3631人、売上は同比108万円増の797万円でした。

3日には、恒例となっている福豆まきを開催。千國茂組合長やハイジの里運営協力会の樽沼正次会長ら6人がハイジの里の南側駐車場で、穂高神社で祈祷した大豆が入った小袋1500袋や紅白餅500袋のほか、祈祷銭の入った小袋など

バレンタインデー商戦に向けて リンゴ「ピンククレディ」選果

2月7日

17 営農相談 日でもあつみ野
15 つくま農場 つかま農場
12 つくま農場 つかま農場

安曇野市三郷の果実中央選果所でリンゴ「ピンククレディ」を初選果しました。バレンタインデー商戦をにらんで8日に関東や関西の市場に出荷するため、真っ赤に色づいたリンゴを生産者やJA職員が手作業で103ケース（1ケース5kg）選果しました。専用のシールが貼られたリンゴを大きき別に分類し、ピンク色の段ボール箱に詰めました。「ピンククレディ」はオーストラリア原産で正式な品種名は「クリプスピンク」。1玉が約200gと小玉で、鮮やかな赤色の果皮と、酸味が強い濃厚な味が特徴。皮をむかずに丸かじりで食べやすいのも利点。生産者は令和5年11月中旬に収穫

したリンゴを冷蔵貯蔵。主力の「サンふじ」の出荷時期を避けると同時に、貯蔵により収穫直後の強い酸味が和らいで香り高い風味を楽しむことができます。5月ごろまでパリッとした食感が残る日持ちの良さも人気の理由です。

をまきました。小袋の中には、米やみかん、調味料などの引換券が入った当たり券も用意しました。

千國組合長は「安曇野農産物の五穀豊穡と来場者の皆様の無病息災を祈願し、豆まきをさせていただくとあいさつし、「鬼は外」「福は内」と威勢のよい掛け声で豆をまきました。会場には300人以上の来場者が集まり、今年の福をつかもうと懸命に手を伸ばしました。



▲毎年恒例「福豆まき」

同協会事務局の掘恵介さんは「この時期にしか味わえないリンゴ。お世話になっている人や大切な人への贈り物として、香りや味、食感を楽しんで欲しい」とPRしました。



▲検品作業をするJA職員ら

伝統の牧大根漬け 販売はじまる

2月8日



JAあづみ女性部西穂高支部の「牧大根プロジェクト(以降旗房子代表)」が作る牧大根の漬物「安曇野うんめえ漬け」の主力「ぬか漬け」の販売が、「安曇野スイス村ハイジの里」などで始まりました。

2月6日、出荷作業を西穂高ふれあいセンターの加工所で行いました。同プロジェクトのメンバー11人が牧大根を容器の中から取り出してビニール袋に詰めました。ぬか漬け(1袋1250g、税込480円)は3000袋の出荷を予定しています。売り切れ次第終了。

同プロジェクトは、23アールの畑で栽培し、令和5年11月中旬に収穫したものを

約2カ月間漬け込みました。

定番の「ぬか漬け」は地元産の米ぬかとメンバーの家で取れたナスの葉や柿の皮などと一緒に漬け込む昔ながらの手法で、牧大根ならではのパリパリとした歯応えと甘みが特徴。

メンバーの熊井悦子さんは「味が良く染み込んで美味しい。他にないパリパリとした食感をファンの方々はもちろん、若い世代のみなさんにも楽しんでもらえたら嬉しい」と話していました。



▲袋詰め作業をするメンバーたち

適期の追肥を呼びかけ 令和6年度産麦追肥指導会開催

2月15~19日



管内4会場で行われた令和6年度産麦追肥指導会を開催しました。令和6年度産は、暖冬の影響で生育が前進していることから適期の追肥作業を呼び掛け、多収・高品質な麦生産を目指します。出荷計画は前年対比70%増の2870トン、生産販売高は同比800万増の3億4000万円を見込んでいます。

管内では、麦茶需要の高まりから実需者の要望を受け令和6年度産から品種切替した大麦「シユンライ」や日本産用の小麦「しゅんよう」「しろゆたか」などを中心に、約8300畝を栽培しています。市場関係者からは品質の高さや出荷量を高く好評を得ています。

15日、安曇野市穂高の有明出張所で開いた指導会には、穂高地域の生産者約30人が

参加。松本農業農村支援センター技術経営普及課の谷口岳志主任を講師に招き、令和6年度産の生育状況を確認、適期追肥作業や湿害対策などについて学びました。

麦類は収穫までの追肥が収量や品質に直結するところから、1回目の追肥は「茎数確保」を目的に、茎立期の2月末〜3月頃、2回目

目は粒の肥大・タンパク向上による「品質向上」を目的に止葉展開期の4月末〜5月上旬が追肥の目安だといわれています。



▲追肥の時期やポイントを解説する谷口主任

相続・遺言セミナー開催 円滑な相続を考えるきっかけに

2月15日



金融共済事業部は、安曇野市の豊科公民館で「相続・遺言セミナー」を開催しました。組合員や地域住民ら約40人が参加。高齢化するJA利用者に対し、相続に係る税制度の変更点などを伝え、万一の時の遺産相続を円滑に進めてもらうことを目的に、平成26年から始めて10年の節目を迎えました。参加費は無料。

F P一級技能士の宮川リ子さんが「円滑な相続の実現のために、遺言を活用した相続」と題して講演を行いました。相続人の順位や遺留分など相続の基本と、相続税や改正相続法のポイント、遺言の概要などを説明。宮川さんは「分割協議をすることなく円滑に財産を継承さ

せたい場合や子どもがいない場合などは、遺言を作成しておくこと相続人同士のトラブルは少なくなる」と呼び掛け、遺言書作成の必要性をアドバイスしました。今後、希望者に対して、個別の相談も受けながら、利用者を伴走支援します。

金融共済事業部貯金課の三澤幸永課長は「組合員や利用者の役立つ情報が提供できるようJAグループの強みを生かした企画を考え、開催していきたい」と話しました。



▲相続や遺言について解説する宮川講師⑥

部長に一志寛さん セルリー供給産地として出荷量確保へ

2月16日



JAあづみセルリー部会は、安曇野市で令和5年度通常総会を開きました。部会員やJA役員ら約20人が参加。令和5年度事業報告や令和6年度事業計画、役員改選など4つの議案を審議し、承認しました。

役員改選では、部長に一志寛さん、副部長には野口雄貴さんと高橋啓二さんをそれぞれ選任しました。

令和5年度は、夏場の猛暑や病害の影響から出荷数量は減少したものの、出荷計画の精度を上げたことで高単価での販売に繋がりが、生産販売高は前年並みの1億1434万円となりました。

令和6年度事業計画では、当JAとJA松本ハイランドからなる松本洋菜生産

販売方針を基本に、病害虫防除や荷造り規格の徹底を図り、セルリー供給産地として出荷量の確保に努めることを確認しました。生産販売高は1億2659万円、出荷数量は4万3655ケース(1㏄110g)を目指します。

一志部長は「売上高1億円を超える重要な品目として、部会員のみなさんの力をお借りしながら、より一層盛り立てていきたい」と意気込みました。



▲意気込みを述べる一志部長(右から2人目)

豊かな安曇野の大地が育てる安全・安心な自然の恵み。皆さんと一緒に元気な農業をお手伝い!

果実

今冬は暖冬傾向で、3月は平年よりも気温が高くなると予想されているため、発芽も平年と比べ早まる予想です。今後の生育に合わせ、適期防除に努めましょう。剪定作業が遅れている方は、ペーシングを上げて発芽前までには作業が終了するよう進めましょう。

1. さくらんぼ

- ① 剪定の見直しを行い、誘引作業も忘れずに実施してください。
- ② 腐らん病の発生が目立ちますので、罹病樹を見つけた場合は早期に処理を行い、感染が拡大しないようにしてください。
- ③ 越冬病害虫防除の効果を高めるため、台木部の粗皮削りを行うてください。



▲粗皮削り後の台木部

2. 梨

- ① 剪定の見直しはもちろん誘引が重要な作業となりますので遅れないように実施してください。

- ② 花芽の着生の良い品種では、芽すくりを実施しましょう。

3. 桃

- ① 摘蕾作業の時期となります。摘蕾作業は、貯蔵養分の無駄な消費を減らし、作業の省力化が図れる作業ですので必ず実施しましょう。
- ② 3月下旬より穿孔細菌病の防除期となりますので、遅れないように実施してください。

4. ぶどう

- ① 剪定の見直しと併せて誘引作業を実施しましょう。
- ② クビアカスカシバの食入防止対策として、主幹部に巻いたワラの除去後に粗皮剥ぎを行ってください。

5. プルーン

- 発芽前の防除期となります。遅れないように実施してください。
- 詳しくは、各地域宮農センター果樹指導員までお問い合わせ下さい。



(梓川地域宮農センター課長代理 樽沼友和)

そ菜

今月は、パイプハウスを利用した夏野菜の播種作業と露地作型春作野菜の定植作業を開始します。例年、3月の平均気温は5℃前後で、日に日に過ごしやすい春の陽気に変化して行くものの、最低気温は氷点下を記録します。作物を栽培する上では、寒さに対してまだまだ油断ができません。特に露地作型では、低温対策に被覆資材等を活用しましょう。

3月に播種・定植がおすすめの野菜目をご紹介します。

レタス類 (定植)

本誌1月号で紹介したレタス類の定植時期です。露地作型では、必ず被覆資材を活用します。通常は被覆資材(パオパオ等)を1枚べた掛けしますが、2重被覆で収穫時期を数日前進させます。3月上旬の定植で5月連休頃の収穫です。

ブロッコリー (定植)

深植えにならないよう株元が少し高くなるくらいに定植します。よい花蕾を収穫する為に、大きく充実した株に養成します。生育状態に応じて、追肥を施用します。

1回目は活着して生育を始める頃、2回目は花蕾が見え始める頃とし、同時に中耕と土寄せをします。アオムシ等の害虫対策に、防虫ネットを活用します。3月下旬の定植で5月中旬の収穫です。

ナス科野菜: トマト、ナス、ピーマン (播種)

ナス科野菜の花芽分化は、苗幼少期でおこります。育苗期に栄養生長と生殖生長が並行して進む為、育苗期での生育が、その後の果実結実・肥大に大きな影響を及ぼします。育苗では、①光合成能力の高い葉をもった苗②充実した花芽をもった苗③圃場への定植時に活着のよい苗を作ることが目標です。

ジューズ用トマト栽培推進

当JAでは、ナス科に含まれるトマトを加工業者に契約販売を行います。37万円/10aの売上げが見込めます。労力軽減と面積拡大を狙い苗(毛苗・定植苗)の斡旋を行います。5月連休頃の定植で7月下旬の収穫開始です。

詳しくは各地域宮農センター又は、各地区担当指導員までお問い合わせください。

(堀金地域宮農センター主任 保尊優二)

水稲

今月から令和6年産米の種粉消毒・浸種作業等が始まります。昔から『苗半作』とも言われているように、苗作りはその年の作柄を大きく左右します。天候不良等に負けない苗作りを目指しましょう！

当JAでは、「JA長野県安心基準米チエック準米」への取り組みをしています。JA長野県安心基準米は、次の要件を満たしたお米です。

- ① JA長野県安心基準米チエックシートに取り組み生産された米であること。
- ② 種粉の種子更新を行い、品種名が確認された種子で生産すること。
- ③ JAの防除基準に基づいて、農薬3ペルの確認を行う使用pknajyo。
- ④ 栽培日誌を正しく記帳しJAへ提出pknajyo。

作業委託をしている場合も栽培日誌を忘れずご提出ください。1つでも要件を満たしていない場合は、JA長野県安心基準米から外れてしまいますので注意下さい。

◆**水稲種粉の準備と種子消毒**
種粉は全量種子更新をお願いいたします。準備する種粉の量は10a当り

3〜3.5kg程度を標準に用意し、厚播きにならないように注意しましょう。苗箱1枚あたりの播種量は乾粉重で160g（4kgネットで作苗箱25枚の計算）が適量です。
※米トレサビリティー法に基づき種子購入伝票は3年間保存して下さい。保存していなければ罰則規定（50万以下の罰金）が適用になります。
※種子消毒の残液は、河川への流入や地下水への影響がないよう適正な処理をお願いします。

◆浸種

浸種温度は10〜15℃とし積算温度で、100℃（15℃で7日間、10℃で10日間）を目安に行ってください。この時、水温が5℃以下だと発芽勢が低下することもありますので、適温で管理をお願いします。

各地区の育苗講習会に参加し、不明な点がありましたら各地区指導員までお問い合わせください。



（豊科地域営農センター 青柳安定）

花き

花き栽培を取り入れてみませんか

露地でも栽培が可能で出荷できる品目や栽培方法があります。今回は、比較的管理が容易な露地品目を紹介します。

◆ひまわり

ひまわりは露地栽培が可能な切り花で、直播での栽培のため、育苗の手間が掛かりません。播種後から開花の日数が読めて、作業日程が組みやすい品目となります。

【出荷の時期】6月〜10月

長期間の継続出荷が販売的に有利です。一斉に播種をすると開花が重なり、収穫が間に合わなくなる為、播種時期をずらして栽培を行います。主に夏場の花のため、8月末出荷までの需要が増えます。※安曇野産ひまわりは市場の評価も高く、生産量の拡大が望まれています。

【基本作型】

- 発芽適温 25℃
- 生育適温 20℃〜30℃
- 露地

5月上旬〜8月中旬 随時
圃場準備・は種
生育期 水・消毒管理
は種後、50〜60日でお荷

- ハウス
ハウス栽培は露地に比べ、春は早くから、秋は遅くまで栽培可能です。

◆アスター

盆花として、露地で栽培ができ、栽培管理も比較的容易に出来ます。市場からは貴重な品目とされ、栽培面積の拡大を要望されており、6割〜7割が注文で推移しており、通常の販売も各産地の品不足から高値で推移しております。

※同じ圃場で連作が出来ない為、各産地で栽培面積が減っております。ぜひ作付けをお願いします。

基本作型

- ・3月下旬〜4月上旬 は種
- ・4月下旬 仮植（本葉が見え出す頃）
- ・5月中旬 定植〜ネット張り
- ・7月下旬まで 管理（水消毒等）
- ・7月下旬〜 切り花（収穫）

※ひまわり・アスター栽培講習会の開催

3月29日（金）午前10時〜
営農経済事業部2階会議室

今回ご紹介した切り花以外にも興味がある方、栽培に興味を持たれた方は、個別にご対応をさせて頂きますので、各地域営農センターまたは農産課へお問い合わせください。

（農産課主任 小山幸亮）

企業説明会のお知らせ

令和7年3月卒業予定の学生を対象に左記の通り説明会を開催いたします。当日は、企業概要の説明や職員への質問コーナーなどを予定しています。

1. 日時

【第1回】令和6年4月24日(水)

10時～12時

【第2回】令和6年4月25日(木)

10時～12時

※いずれか都合のよい日にお越しください。

2. 場所

安曇野スイス村サンモリッツ

安曇野市豊科南穂高380001

3. 申込方法

マイナビJUNONの応募フォームまたは左記お問い合わせ先までご連絡ください。

総務開発事業部 人事教育課

【Contact】
020-72-20200

ATMなどのサービスの一時休止について

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

このたびJAバンクはお客様へのサービスや利便性の向上を目的としたシステム更改に伴い、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

休止日	休止時間	休止するサービス(※)
令和6年3月10日(日)	6:30～9:00	全取引休止
令和6年4月29日(月・祝)	0:00～24:00	一部取引休止(県内JAのATMとJAネットバンクサービスはご利用可能)
令和6年5月18日(土)	21:00～翌8:00	全取引休止
令和6年5月26日(日)	0:00～24:00	一部取引休止(県内JAのATMとJAネットバンクサービスはご利用可能)

(※) 休止するサービス：JAバンクのATM、コンビニ等のATM、JAネットバンクサービス、ジェイデビット

現金のお引き出しはお早めに

お客様にはご不便をおかけし誠に申し訳ございませんが、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

※JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用可能日、ご利用可能時間およびご利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、各支所・出張所の金融窓口でご確認ください。

JAファームみどりの店からのお知らせ

おいしい野菜は土づくりから

野菜にはそれぞれ生育に適した土壌酸度(pH)があります。土壌酸度が適切でない土壌では、根が傷んだり、生育不良や病気が出やすくなります。種まき前に土壌酸度を調整することで、野菜の育ちが良くなります。

【デジタル土壌酸度計 A-2】



3,580円(税込み)

土壌温度、照度、土壌水分、塩分濃度が簡易的に測定できます。液晶画面は大きな数字で、楽に数値が読み取れます。

【土壌酸度(pH)計 B】



5,610円(税込み)

電池は不要で土壌に挿すだけで測定ができます。

【土壌酸度測定器 DM-3】



11,000円(税込み)

土壌に直接挿入するだけで土中のおよその酸性度の測定ができます。電池不要、携帯用ソフトケース付。日本製

JA 農機具ローンキャンペーン

キャンペーン期間:令和6年3月1日(金)~12月30日(月)



ローンご契約特典!

期間中「農機ハウスローン・アグリマイティーローン」を
50万円以上 お借入いただいた方にのみ

① JA まごころ商品券 1,000 円分
(JAの直売店・みどりの店等で利用できます)

② クオカード 1,000 円分

①②のいずれかをプレゼントさせていただきます!

JAあづみは農業の未来を応援します...



一定の要件を満たせば、「JA バンク利子補給」により、“**最大年 1.0%の利子補給**”が受けられ、**当初3年間の金利がお得に!**

■ JA バンク利子補給制度

※利子補給後の下限利率:年0.2%

(長野県農業信用基金協会保証がある場合)

※当初お借入金額が100万円以上で「農機具・施設の取得・農業生産に直結する設備資金」が対象。(保証料は別途かかります)

各種農機具の購入、点検・修理、パイプハウス・農業用倉庫建設資金等に!

融資期間 **最長10年以内**
(アグリマイティーは最長15年)

融資金額 **最高1,800万円以内**
(JA農機ハウスローンの場合)

手続き簡単・スピーディーな「JA 農機ハウスローン」! 幅広い用途に対応する「JA アグリマイティーローン」がおすすめです!

令和6年度記帳代行サービス募集のお知らせ

JAでは、組合員の皆さんの農業所得申告の決算書作成のお手伝いをしています。下記のようなことでお困りの場合JAにお任せください。

○記帳の仕方が良くわからない ○取引を記帳する時間がない ○書類作成が難しくて誰かに頼みたい
記帳とは

○JAがあなたの代わりに簿記記帳をします。

○複式簿記により貸借対照表や損益計算書、総勘定元帳を作成するので55万円または65万円の特別控除を受けることができます。

※記帳代行には利用料金が必要となります。

※募集期間 令和6年4月末締切

<お問い合わせ先>

JA あづみ営農経済事業部 担い手支援室 TEL 72-2933



あつまる つながる みんなのあした

ニュースポーツで交流

部員同士でアドバイス

1月
29日



JAあづみ青壮年部と女性部は、安曇野スイス村サンモリッツで合同交流会を開きました。部員やJA職員ら約30人が参加。性別や年齢を問わず、誰もが楽しめるニュースポーツを通じて親睦を深めました。

JAあづみ
青壮年部

普段、交流する機会の少ない両部員らがスポーツを通して親睦を深めるとともに組織の活性化に繋げようと企画しました。

JAあづみ
女性部

競技は、1チーム5人の対抗戦で、5チームが4種目の合計点を競いました。種目の一つラダーゲッターはヒモでつながっている2個のボールをラダー（ハシゴ）に向かって投げ、ボールがラダーに引つ掛かると得点になります。絶妙な力加減が必要で、慣れないニュースポーツに苦戦しながらも部員同士がアドバイスを送り合い、チーム一丸となって優勝を目指しました。



青壮年部の鶴見亮太郎部長は「普段、女性部のみなさんと交流する機会は少なく、いい機会になった。女性の力に元気をいただいた。今後交流を続けていきたい」と話しました。

女性部の黒岩美知子部長は「みんな和気あいあいと楽しんでいた。年齢や性別の垣根を越えて交流できて、親睦を深めることができた」と嬉しそうに話しました。

昼食では、お弁当をチームごとに食べながら日頃の活動などについて話し合い交流を深めました。



▲ニュースポーツで交流を深めました

生産資材高騰・異常気象で膨らむ経費

市政に現場の声伝える

1月
30日



JAあづみ青壮年部と女性部は、安曇野市の豊科学習交流センター「きぼう」で毎年恒例「安曇野市との懇談会」を開きました。太田寛市長などの行政関係者や部員、JA職員ら33人が出席。生産資材高騰や常態化する異常気象などの影響で激変する農業現場の声や市政に対する要望を伝えました。

JAあづみ
青壮年部

懇談会は、地域農業を担っている農業者や女性が日頃の生産現場で感じている問題点や課題などを行政と議論し、地域農業の発展や振興に繋げていくことを目的に、平成19年から始めました。

JAあづみ
女性部

懇談会で部員らは「昨年は猿に農作物を食べられ250万円もの被害を受けた。電気柵以外の根本的な猿対策を急いで欲しい」「空き倉庫を利活用するための啓蒙活動や現状把握をお願いしたい」「50歳以上の移住者で就農した農家への支援が見逃されている」など、安曇野市の景観を支える農業の持続可能性が担保されるような施策を望む声を伝えました。



両部を代表して鶴見亮太郎

壮年部長は冒頭のあいさつで「産地を守り、次代に安曇野の農業をつなぐために努力しているが、天候や耕作地の問題、後継者不足、生産資材の高騰による経費の増大など個人で対応するには難しいことが増えている」と呼び掛け、太田市長は「安曇野の根幹は農業にあると思っている。力を合わせて盛り立てていきたい」と応じました。



▲意見を述べる青壮年部員(中央)

生き生き塾のお知らせ

2月16日、安曇野市の南穂高ふれあいセンターで第9回生き生き塾を開講しました。JA長野厚生連佐久総合病院の臨床顧問伊澤敏さんを講師に「農業と生態系の関係性」を学びました。



あしたへのあんしん

デイサービス
あんしんの里
榎

朝晩の冷え込みが激しくなり、本格的な冬將軍が訪れてきました。それでも日中、春のような暖かな日もあり、せっかくなのでドライブがお好きな利用者さんを気分転換にと、白鳥湖に白鳥とカモを見に行ってみました。水辺の方まで歩いて行き、白鳥やカモを間近に見て、冬ならではの景色を楽しみました。



節分の日には、毎年恒例の「鬼のパンツ」の歌体操や鬼のお面を標的にした的当てをしたり、おやつには豆菓子を食べました。今年も利用者さんと一緒に鬼を退治することができました。1年間、無事健康に元気に楽しく過ごせますようにとみんなが願いを込めました。

あんしん 広場

福祉相談会のお知らせ

- 【日時】 3月13日(水) 10時~12時
- 【場所】 JAあづみ南穂高ふれあいセンター
- 【内容】 福祉の専門家(介護支援専門員・介護福祉士)がわかりやすく相談に応じます。※相談無料 予約優先

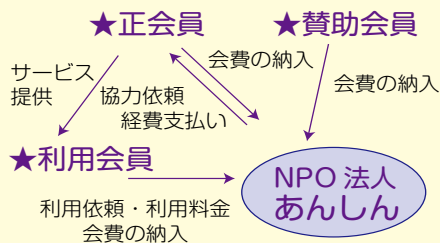
ご予約・問い合わせ先

JAあづみ訪問介護事業所 0263-72-2148
JAあづみ居宅介護支援事業所 0263-87-0380

くらしの助け合い活動あんしん

あんしんは会員が「困ったときはお互いさま」の心で支え合う組織です。あんしんは趣旨に、ご賛同いただいた正会員賛会員、利用会員の皆様で構成されています。

住み慣れた地で老いても心身ともに元気でお互いに助け合いながら暮らすことのできる「あんしんの里づくり」を目指しています。次回は会員についてご紹介します。



お申し込み・ご注文・お問い合わせ先

特定非営利活動法人
JAあづみくらしの助け合い
ネットワークあんしん
(地域支え合いセンター)
TEL.0263-71-2828
FAX.0263-88-2802

デイサービス
あんしんの里
南穂高

2月3日の節分の日に豆まきを行いました。はじめに利用者さんと一緒に鬼のパンツの歌を振り付けしながら元気よく歌いました。手作りをした金棒と鬼のお面をかぶって鬼役になった職員が現れると「鬼は外、福は内!」の掛け声とともに力いっぱい豆に見立てた新聞紙を投げて、見事退治しました。その後、鬼の面的当てゲームをして節分を楽しみました。また、レクリエーションの時間を活用して2~3月にかけて梅の花とウグイス作りを始めました。色画用紙を梅の花の形にして、ウグイスも色紙で形を作って壁に貼り「上手にできたね」、「まだ寒いけど春が待ち遠しいよね」と作品を眺めていました。





年金相談室

年金の専門家（社会保険労務士または年金相談員）
がわかりやすく相談に応じます。

夜間や週末も開催しております。お仕事帰りやお
休みの日にもお気軽にお越し下さい。

日 時		場 所
4月16日(火)	9:00~15:00	小倉ふれあいセンター
18日(木)	17:00~19:00	堀金支所
20日(土)	10:00~16:00	穂高支所
		豊科支所



シェフ 永井のおすすめ

タイのオイル焼き たっぷり野菜のソース

「キッチン職人」の
オーナーシェフ
永井智一



材料(2人分)

- タイ 2切れ
- 新ジャガ 1個
- 新タマネギ 1/2個
- トマト 1個
- カブ 1個
- スナップエンドウ 2本
- ニンニク 1片
- カブの茎 適宜
- オリーブ油 適宜
- 塩・こしょう 適宜
- 白ワイン 50ml
- ローズマリー 1本
- レモン汁 小さじ1

作り方

- (1) タイにあらかじめ塩・こしょうを振って
おく。新ジャガ、新タマネギ、トマ
ト、カブはさいの目に、スナップエンド
ウは5mm幅に、ニンニクはみじん切
りに、カブの茎は細かく切っておく。
- (2) 野菜のソースを作る。フライパンにオ
リーブ油大さじ2(分量外)と新ジャ
ガ、新タマネギ、トマト、カブ、ニンニ
クを入れ、弱火で7、8分ほど炒め、白
ワインとローズマリーを入れ中火で
5分ほど煮込む。仕上がる直前にスナ
ップエンドウとカブの茎を入れ、塩・
こしょうで味を調える。
- (3) フライパンで野菜を煮込んでいる間
に、タイにオリーブ油をかけ、グリ
ルで焼き上げる。
- (4) 器に(2)の野菜のソースをひき、(3)
のタイを盛り付け、レモン汁をかけ
て出来上がり。

CROSSWORD PUZZLE パズル

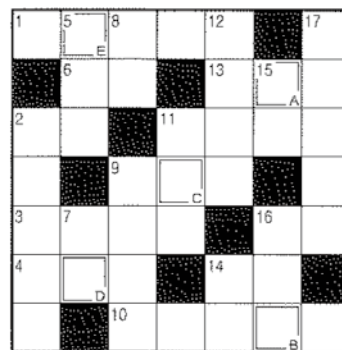
タテのカギ

- ② 歌のうまさを競うイベント
- ⑤ 釣りで使う擬餌針のこと
- ⑦ 舌で感じ取るもの
- ⑧ 日本一高いものは3776mあります
- ⑨ 「峠の——」は群馬県・JR横川駅の名物
駅弁です
- ⑪ 人や車が行き来する道のこと
- ⑫ このような役を演じられるとは役者——
に尽きます
- ⑭ ものを記憶する器官
- ⑮ ホルスタイン、ジャージーといえば
- ⑯ 寄せ書きに使ったりサインをもらった
り
- ⑰ ホワイトデーに贈ることもある、ふわ
ふわと軟らかいお菓子

ヨコのカギ

- ① 3月下旬から4月上旬までの学校の休暇
- ② イエスの反対語
- ③ 俳句や和歌で規定より音数が多いもの
のこと
- ④ いいかげんなことはしません
- ⑥ 海に潜って貝などを採ります
- ⑨ どこからか梅の花の——が漂ってきた
- ⑩ 卒業生が校長から卒業——を授与され
た
- ⑪ 捕手とバッテリーを組みます
- ⑬ 原稿——、投票——
- ⑭ 雨宿りのときに借ります
- ⑯ 姫路や彦根、松本のものがある

Q. 二重マスの文字をA~Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？



(JA広報通信より引用)

応募ハガキの記入方法

(皆様の声をお寄せ下さい)

63 399-8283 安曇野市豊科
JAあづみ総務課 四二七〇一六
マイル編集委員会

① クイズの答え
② 郵便番号・住所
氏名・年齢・職業
電話番号
③ JA・広報誌への
ご意見、日頃の
出来事など

応募締切
3月21日(休)必着

正解の中から抽選で3名
の方に、JAまごころ商品
券(1,000円分)をプレゼン
トします。
(毎月20日頃発送)

A.2月号の答え



解答 A B C D E
⑤ ① ⑦ ② ⑬

応募総数 58 通

当選者 安曇野市 中田さん
安曇野市 磯野さん
安曇野市 鎌倉さん



農産物直売所 あづみ野ふる里市



4/4(土)オープン



地元産の新鮮な野菜や果実などを取り揃えてお待ちしております。

4/6(土) オープンイベント開催!!

8:30~



先着30名様に粗品プレゼント!!

農産物直売所 あづみ野ふる里市

〒399-8102 安曇野市三郷温 2030-1 ☎ 0263-77-7530

営業時間/8:30~16:00 定休日/水曜日

今月の星占い

- 牡羊座 (3/21~4/19)**
上昇運です。一つ一つ丁寧に進めていきましょう。春の女神がほほ笑みます。好情報も入手できそうです
- 牡牛座 (4/20~5/20)**
運勢は穏やか。交友関係が活発化。楽しい話が舞い込みそう。あなたも面白い話を披露して。技術習得の勉強が吉
- 双子座 (5/21~6/21)**
油断は禁物。いつも使っている道具だからこそ安全点検をしっかりと。その心がけが福を招きます。連絡は早めに
- 蟹座 (6/22~7/22)**
新しい情報を積極的に取り入れましょう。良い思い付きが得られるはず。旅行の計画を立てるのもお勧めです
- 獅子座 (7/23~8/22)**
想定外の事態になっても慌てないように。経験者の話はとても参考になります。手を貸してもらえらることも。相談を
- 乙女座 (8/23~9/22)**
あれこれやらなければいけない感じがち。状況を整理して優先順位の低いものは除いていきましょう。計画的に動いて
- 天秤座 (9/23~10/23)**
勢い余ってフライングをしないように。マナーを守ってこそあなたの良さが光ります。細かい作業にツキ
- 蠍座 (10/24~11/22)**
好調運。ただ準備不足で動くのは避けて。下調べをしておけば好結果が期待できます。レジャー運も良好です
- 射手座 (11/23~12/21)**
気になることが多そう。気の置けない友人たちとの時間が心の慰めに。部屋の整理整頓をすると運気アップ
- 山羊座 (12/22~1/19)**
交流会やセミナーに参加を。見聞を広めると幸運が舞い込みます。友人たちと遊びに行くのもお勧め。旅行も吉
- 水瓶座 (1/20~2/18)**
頑張りが利きます。力業でなんとかできることも多いですが周囲への配慮も忘れずに。買い物運があります
- 魚座 (2/19~3/20)**
好調運。積極的に主導権を握りましょう。目立つことも開運につながります。ヘアスタイルを変えるのもお勧め

ハイジの里で毎週火曜日に実施されている果実の袋詰めが楽しみです。味重視の私には見た目は関係ありません。毎週足を運んで、袋詰めめ

JAの葬儀の礼状を最近2回ほどいただき感動しました。他社ではありきたりな文例で、アドバイスも何もありませんが、JAのサービスのきめ細やかさを感じました。(安曇野市 中田さん)

昨年の果樹生産は、遅霜・氷雪で不作でした。今年は豊作番、価格一番の夢を抱いて作業をしています。(松本市 木船さん)

水稲の品質向上のための水管理について、近年の異常気象に準じたアドバイスがためになります。(安曇野市 保高さん)

JAの葬儀の礼状を最近2回ほどいただき感動しました。他社ではありきたりな文例で、アドバイスも何もありませんが、JAのサービスのきめ細やかさを感じました。(安曇野市 中田さん)

編集後記

早いものでもう3月。徐々に気温が暖かくなり、春の訪れを感じるようになりました。作物も芽吹きを迎え、“春耕”が待ち遠しい。それでも「三寒四温」。まだまだ寒い日が続きますので、みなさん体調管理には気を付けてくださいね。

(Y・N)



理事会報告

〈2月27日開催〉

- 令和6年度事業計画の設定について 他

スクラム

2月20日現在

- 直売所「安曇野スイス村ハイジの里」登録会員 / 738

営業時間のお知らせ

3月から10月までは下記の営業時間となります。

業務区分	営業時間(月～金)	休業日	
金融・共済業務	8:30～17:00 【窓口9:00～15:00】	土・日・祝日	
ローンセンター	木～火 9:00～16:30	水・祝日 ※上記を原則とし、状況により営業する場合もある	
地域営農センター	(3月・6月～8月)8:30～17:00 (4月～5月) 8:30～17:00 土・祝日 8:30～12:00 ※穂高地域営農センターは3月～5月まで ※梓川地域営農センターは4月～7月まで (9月～10月) 8:30～17:00	(3月・6月～8月)土・日・祝日 (4月～5月) 日 (9月～10月) 土・日・祝日 ※上記を原則とし、地域の状況により営業する場合もある	
地区営農センター	9:00～16:00 ※高家・倭は9:00～17:00 ※小倉は8:30～17:00	土・日・祝日 ※上記を原則とし、地域の状況により営業する場合もある	
みどりの店	(3月) 8:30～18:00 (4月～9月) 8:30～18:30 (10月) 8:30～17:30	無休	
安曇野スイス村 ハイジの里	9:00～18:00 (8月11日～14日 8:00～18:00)	毎月1日が休業日(3/1、4/1、7/1、8/1、10/1) ※5月・6月・9月は休まず営業	
安曇野スイス村 ハイジの里別館	9:00～17:00	水曜日 (8月14日は営業)	
穂高農産物直売所	9:00～16:30	土・日・祝日	
そ菜特産流通センター	(3月～4月) 日～金 8:30～16:00 (5月～10月) 日～金 8:00～17:00	土・祝日の前日 市場休みの前日	
果実流通センター	(3月～7月) 8:00～16:00 (8月～10月) 8:00～17:00	(3月～10月)土・日・祝日 (季節により変更あり)	
耐久資材センター	8:30～17:00 (土曜日は緊急対応のみ)	日・祝日	
生活課(宅配:5月末まで)	月～金 8:30～17:00 土 8:30～12:00	日曜日	
生活課			
農業機械センター	8:30～17:00	土・日・祝日	
プロパンセンター			
給油所	有明・温・倭	7:30～19:00	無休
	烏川	月～土 7:30～19:30 日・祝日 7:30～19:00	
	大野川	日～土 8:30～17:30	月・水
	奈川	月～土 8:30～17:30	水・日
	安曇野インター	7:00～21:00	無休
灯油配送センター	(3月) 8:30～17:30 (4月～10月) 8:30～17:00	無休	
福祉課	月～土 8:30～17:00	日曜日	
ふれあいセンター	9:00～16:00	土・日・祝日 ※上記を原則とするが、地域の状況により営業する場合もある	
その他一般業務	8:30～17:00	土・日・祝日	

あづみ農業協同組合

- スマイル/No.695 2024年3月1日発行
- 発行人/千國 茂
- 編集/スマイル編集委員会 編集事務局/総務開発事業部総務課
〒399-8283 長野県安曇野市豊科 4270-6
- http://www.ja-azumi.iijan.or.jp/ ●印刷/有限会社安曇印刷



JAあづみHP

＼SNSで旬な情報を投稿しています／



MATSUMOTO Yamaga F.C.

JAあづみは松本山雅F.C.を応援しています